

では、どんなシステム環境でインターネットが利用されているか見てみたい。まず、使用しているハードのメーカーを示したのが図27（CSJ調査。N=2,558）と図28（インプレス調査：既接続者のみ対象。複数回答。N=1809）だ。

図27のパソコン分野では「アップル」が40.9%と圧倒的なシェアを誇り、以下「NEC」（10.9%）「富士通」（8.5%）「IBM」（5.5%）「コンパック」（3.8%）と続く。ワークステーションでは「SUN」が6.3%と健闘しているものの、パソコンに圧倒されてきた感は否めない。

一方、図28でも3位と4位が入れ替わってはいるが、「アップル」（36%）「NEC」（21%）の1位、2位は動かず、以下「IBM」（8%）「富士通」（6%）「エプソン」（6%）「ゲートウェイ」（3%）の順となっている。

図26は「Windows 95」の発売以前の調査、図27は発売以後の調査。それを考えると「アップル」の図26での40.1%と図27での36%を、シェアが下降している兆候ととるか、まだ相当に強いととるか、単なる調査手法の違いによる誤差ととるか、意見が分かれるところだろう。

また、図27の7位には「自作・組み立て」（2%）が入っており、与えられた条件下で少しでも使い勝手の良いコミュニケーションを実現しようとする利用者の努力が感じられる。

16. 使用しているOS

使用しているOSについて見たのが、図29（CSJ調査）と図30（インプレス調査：既接続者のみ対象。複数回答。N=1831）である。

図29では「Windows」（43.3%）と「Mac」（40.4%）がシェアを二分し、その後「UNIX」（13.9%）が続く形となっている。CSJの前の調査と比較すると「Windows」が8.2ポイント、「Mac」が1.6ポイントかさ上げした分、「UNIX」（10.3ポイント減）が後退した格好だ。15の結果も考え併せるとインターネットのマシンの主流は、これまでのUNIXマシンからパソコンへと急速に世代交代していることを物語っているように思われる。

一方、図30では3.1、NT、95を合わせた「Windows」（47%）が「Mac」（23%）を抑える結果となった。ちなみに世界の状況を見ると、ランダム・ヤフー・リンクの統計調査（期間：95年12月10日から19日。N=2万9,910。表2）では、図30以上に「Windows」（71.2%）が「Mac」（14.9%）を引き離している。

図30では「Windows 95」（19%）が「3.1」（23%）を下回っている点にも注目したい。「95」の売り出しから調査終了までほぼ2か月。調査対象となったインターネット利用者のコンピュータ歴を考えると、バージョンアップのテンポは比較的ゆっくりのように思われる。利用者が冷静と見るべきか。

17. 使用しているブラウザ

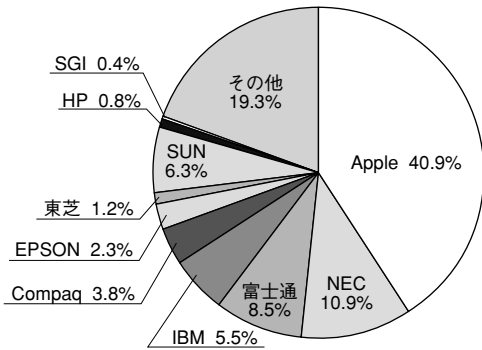


図27 使用しているハードウェア (C)

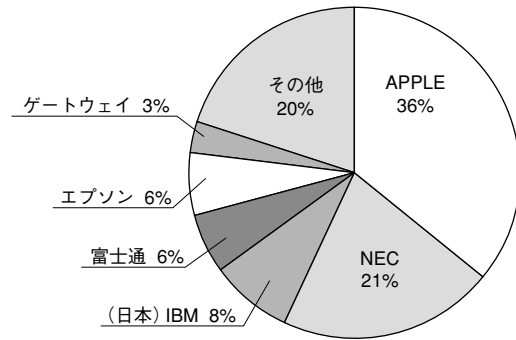


図28 使用しているハードウェア (I)

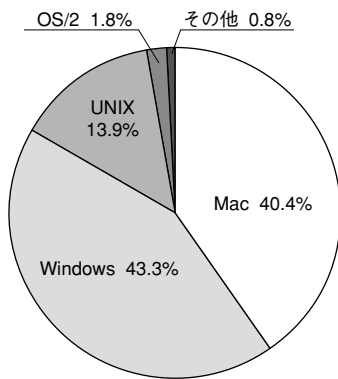


図29 使用しているOS (C)

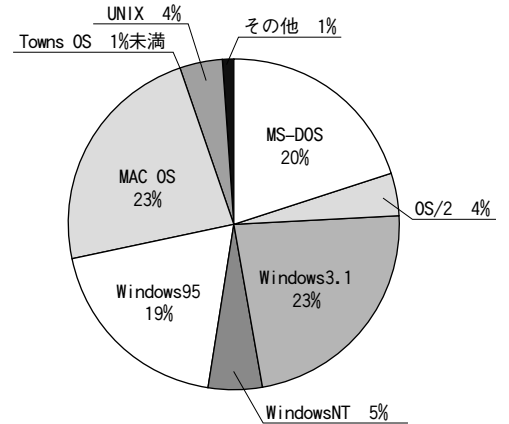


図30 使用しているOS (I)

Browser Platforms	Hosts	%
1. Windows	21308	71.2
2. Macintosh	4468	14.9
3. Lynx	1749	5.8
4. Xll	1444	4.8
5. other	941	3.1

Ed kubaitis(<http://www.cen.uiuc.edu/~ejk/bryl.html>)

表2 世界的に見たWWW利用者のOS



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp